

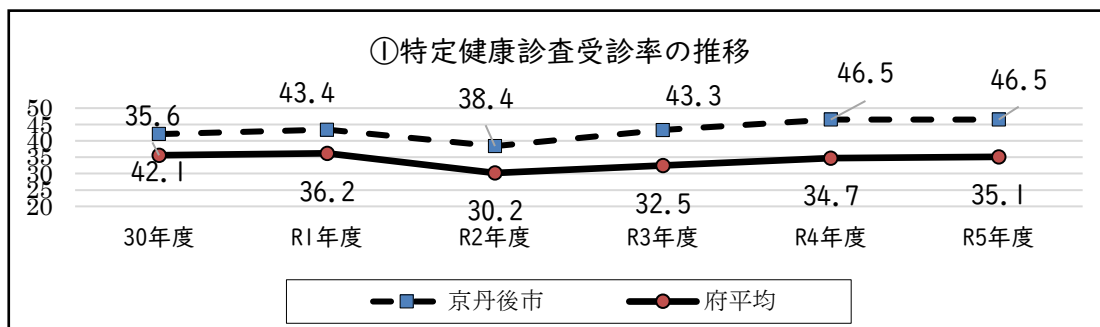
I 特定健康診査及び特定保健指導について

(対象者：国民健康保険被保険者 40～74 歳)

(出典元：令和5年度特定健診・特定保健指導法定報告結果)

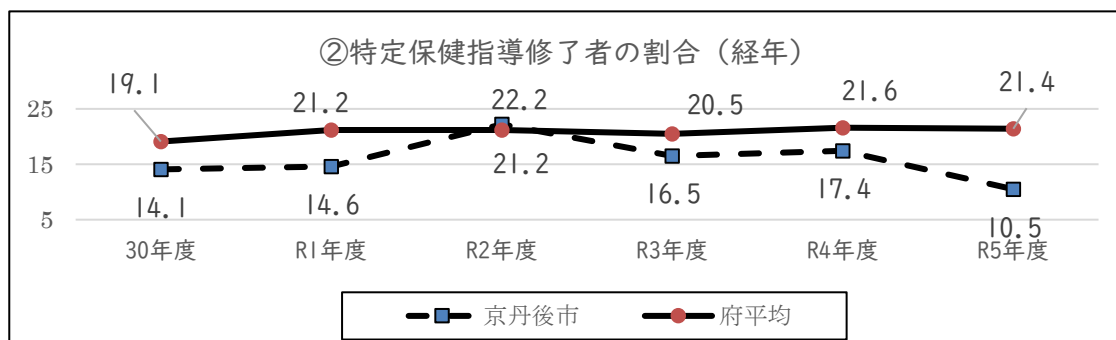
1. 特定健康診査受診率の推移

新型コロナウイルス感染症の影響で受診率が減少したが、令和2年度以降は徐々に回復し、府平均と比べ受診率は高い状況である。(府下5位)



2. 特定保健指導終了者の割合の推移

個別呼び出しを実施した初年度であった令和2年度は増加したが、令和3年度は低下した。また、令和5年度は初回面接が少なく終了率が低下した。(府下25位)



3. 特定健診・特定保健指導実施結果

(1) 内臓脂肪症候群該当者割合推移

令和元年度以降、徐々に増加傾向で、5年度は府平均を上回った。(府下17位)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
市(%)	15.9	17.4	17.1	17.9	19.2
府平均(%)	18.0	18.7	19.6	19.2	19.1

(2) 内臓脂肪症候群予備軍該当者割合推移

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
市(%)	12.5	12.7	13.1	12.9	14.0
府平均(%)	10.9	11.1	11.3	11.0	10.9

令和元年度以降徐々に増加しており府平均より高い。
(府下1位)

(3) 高血圧薬の服薬者割合

府平均と比較して低い割合であり横ばいであったが、令和5年度は増加した。(府下24位)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
市(%)	27.7	29.3	29.9	29.7	31.0
府平均(%)	33.0	33.7	34.5	32.4	31.8

(4) 脂質異常症薬の服薬者割合

府平均と比較して低い割合であり、令和2年度から増加しているが令和5年度は横ばいである。

(府下23位)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
市(%)	17.2	23.9	23.7	25.0	24.8
府平均(%)	25.5	28.0	29.5	27.9	27.3

(5) 糖尿病薬の服薬者割合

府平均と比較して高い割合であり、徐々に増加している。(府下11位)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
市(%)	7.9	8.2	8.3	8.7	8.8
府平均(%)	7.1	7.7	7.8	7.4	7.3

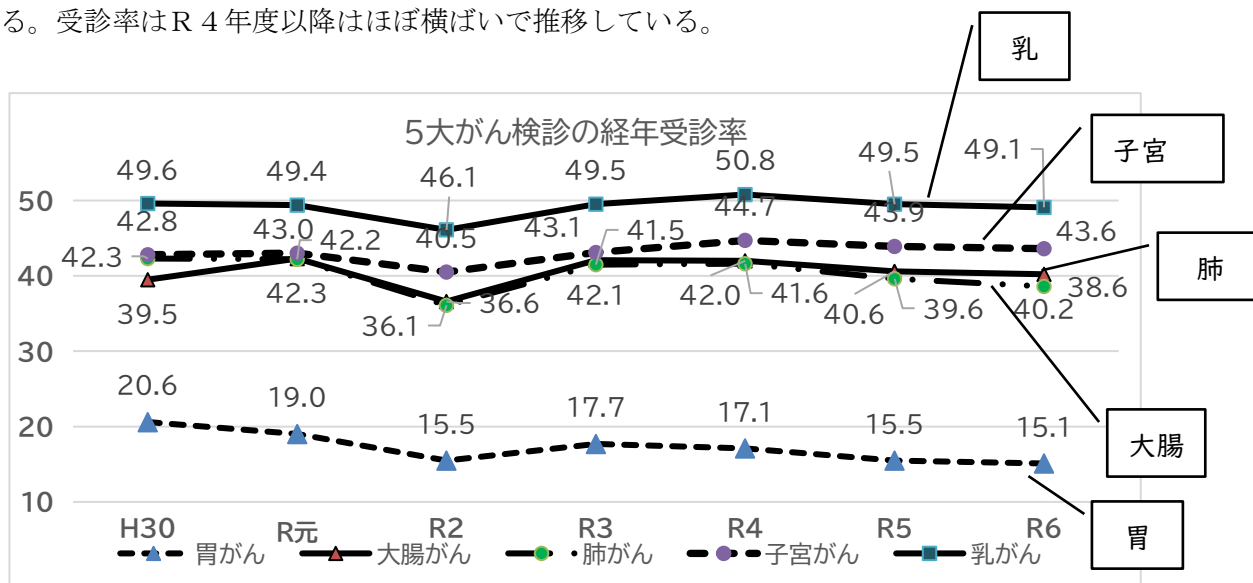
Ⅱ その他の主な保健事業について

Ⅰ. がん検診受診率

がん検診は、総合検診として健康診査と同時に受診でき、すべて無料としている。

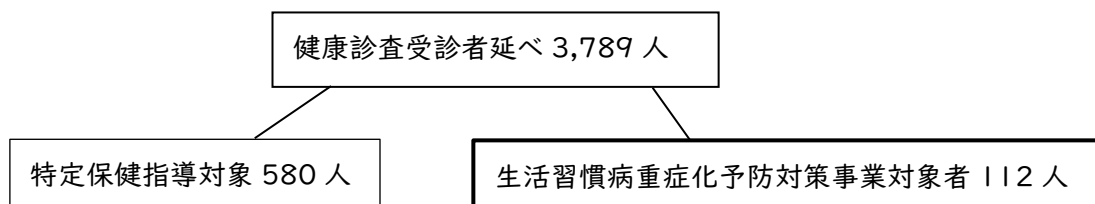
受診率は、府下の市町村と比較すると高いが、胃がん検診は平成30年度以降減少している。

新型コロナウイルス感染症の影響から令和2年度以降、会場は体育館等の広い会場で実施している。受診率はR4年度以降はほぼ横ばいで推移している。



2. 生活習慣病重症化予防対策事業

- (1) 特定健康診査の結果において、血圧値または血糖値が要医療判定基準を超えている方のうち、医療機関未受診の方へ「保健・栄養指導連絡票」を作成し、受診勧奨を行う。



- (2) 糖尿病治療中断者（通院中の患者で最終の受診日から6か月以上経過後、受診した記録がない方）へは、受診勧奨とアンケート調査で受診状況及び未受診の理由を確認した。

回答が得られなかった対象者 14 人全員にアンケートを送付し、2 名は訪問にて聞き取りを行い、KDB システムで 3 人の受診を確認した。

3. 健康教室、健康相談

	【令和 6 年度実績】
検診結果個別指導	41 日間：11 会場：730 人 その他：訪問、窓口等 91 人 計 821 人 個別呼び出しで結果を返却し、個別指導を実施
栄養相談	延べ 28 人
出前講座	35 回：延べ 446 人 「フレイル予防でいきいき長寿」「食の達人は健康づくりの達人」 「骨こつ予防で生き生き人生を」「丹後のびのび体操体験会」

4. 健康づくり推進員の活動

8 期 1 年目 40 人。(2 年任期)市の保健事業への協力や推進員各自がチラシの配布やチャレンジウォーキングへの協力等の活動を行った。

	【令和 6 年度実績】
研修会	① 委嘱式・記念講演 歯科医師による講話「健康長寿はお口から」34 人 ② ウォーキング交流会：8 人 ③ 研修会 運動「運動講師によるウォーキング等実技指導」：26 人 ④ 研修会 総合検診から見える京丹後市の現状と健康管理のポイント：31 人
普及啓発活動	・総合検診受診率向上の取組：受診勧奨チラシの配布 ・サザエさん体操の普及活動
地区活動	健康教室等の開催、健康便りの発行
市の保健事業の参加	Let's チャレンジウォーキングへの参加・協力 「丹後万博 2024」への協力 8 人

5. Let's チャレンジウォーキング

市民の運動習慣の定着へのきっかけづくりとして事前に設定したウォーキング月間にウォーキングチャレンジカード・ウォーキングアプリを利用して実施。全員に参加賞あり。

前期はオンライン、後期は京都府の事業「ある古っ都」を利用した。

	【令和6年度実績】
日 程	【前期】5月1日～6月30日、【後期】10月1日～11月30日
参加結果	カード：446人、アプリ：156人、オンライン：23人 男女比：3：7
年代別	カード参加者：60歳代(25%)、70歳代(29%)、80歳代(22%) アプリ参加者：40歳代(17%)、50歳代(30%)、60歳代(25%)

6. 食生活改善に関する事業

食生活改善推進員を育成するとともに、食育及び健康づくりの観点から食生活改善を進めている。

	【令和6年度実績】
食育推進	食生活改善推進員研修会：講話、調理実習 食文化伝承推進事業：11校16回開催、参加児童生徒425人、ばら寿司等の調理体験 食育推進ネットワークの開催：2回 食生活改善推進員による地域での伝達講習会：9回

7. 自殺予防対策

令和5年度に策定した「第3次京丹後市自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」と連携・協働し、自殺対策を実施した。

	【令和6年度実績】
ゲートキーパー研修会	8回開催：参加者延べ150人
こころの健康相談	月1回：延べ46人：実人数19人 ＊保健師・臨床心理士対応
街頭啓発	9月、3月：ショッピングセンター等で街頭啓発を実施。495部配布。 相談啓発グッズを各市民局及び図書館、福祉事務所、通仙亭等に配架。 ※9月10日～16日：自殺予防週間 3月：自殺対策強化月間
自殺予防メッセージ入りクリアホルダーを配付	市内小中高校の卒業予定の児童生徒1,185人に配付

8. 介護予防体操の普及

健康寿命の延伸のため、高齢者のフレイル（虚弱）予防として、介護予防体操を普及し、各地域で継続実施できるよう支援した。

「☆からだ・寿命・元気☆丹後のびのび体操」（約40分）

- | | |
|--------------------|------------|
| ① 市歌に合わせたウォーミングアップ | ② 筋力トレーニング |
| ③ 有酸素運動と二重課題 | ④ クーリングダウン |

	【令和6年度実績】
地区での取組	① 「介護予防体操教室」週1回3か月間地区の公民館等で体操を行う。 （新規支援） ② 3か月の教室後、自主的に継続して体操教室に取り組む地区に対して継続支援を行う。 【実績】新規：2地区 継続：27地区 実人数：325人
成 果	令和6年度は、新たに2地区が新規取組を開始した。久美浜地域では初めての実施であり、今後、更に広がるよう啓発していく必要がある。
その他の取組	○介護予防体操サポーター研修会：地区支援の強化、体操の啓発 参加15人 ○代表者交流会：活動についての意見交流、情報交換 参加28人

9. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する事業

高齢者の心身の特性に応じた、きめ細やかな支援を実施するため、生活習慣病対策・フレイル対策としての保健事業と介護予防を一体的に実施し、健康長寿の延伸を目指すことを目的に令和2年度から実施（後期高齢者広域連合からの委託事業）

	【令和6年度実績】
ハイリスクアプローチ （個別支援）	① 重症化予防：健診の結果、血圧や血糖値で要医療の人に、保健師が訪問し保健指導を実施 ② 栄養改善：健診の結果、低栄養の人に管理栄養士が訪問し栄養指導を実施 ③ 健康状態不明対策：健診や医療未受診、介護認定なしの人に「健康チェック票」を郵送し、未返信やフレイルリスクの高い人に保健師が訪問等を行い、健康状態の把握と健康相談や保健指導を実施（実施地区：峰山町・大宮町・網野町） 【実施結果】 ① 高血圧：170人・195回／高血糖：23人・24回、 ② 低栄養：143人・134回 ③ 健康状態不明者：チェック票214人郵送、要支援者130人、継続支援16人 低リスクの方にも電話、情報提供等を実施。
ポピュレーションアプローチ（集団支援）	高齢者の通いの場に保健師が出向き、フレイル予防についての健康教育や健康相談を実施。フレイルリスクの高い人等支援の必要な人は関係機関と連携し支援 【実施結果】 ・フレイル予防講座実施件数：10件（受講人数：157人）

10. その他

防災行政無線での「ラジオ体操」放送

毎日15時に防災行政無線を活用したラジオ体操の放送を令和2年度から開始し、令和6年度も体力づくり、健康増進の目的で実施した。